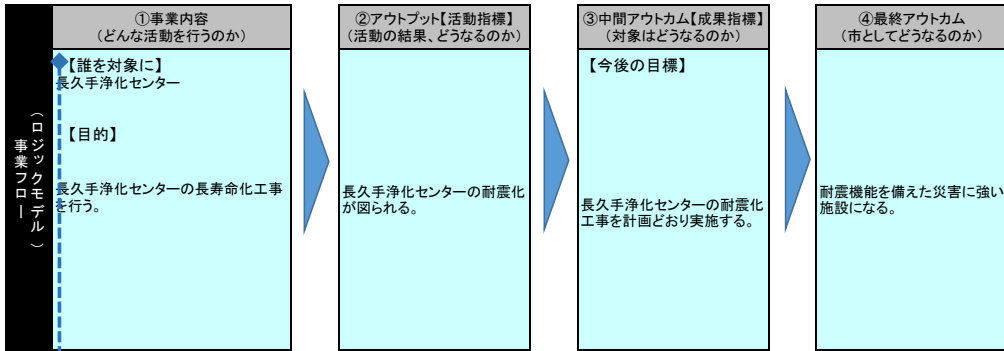


長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	62	事業名	建設改良事業	担当部課	建設部下水道課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進		会計 区分	下水道事業会計・資本的支出
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市公共下水道事業計画	01-01 建設改良費	
	事業開始の背景、経緯等	社会基盤の整備による人口増加に伴い、早急に下水道整備を行う必要から、平成2年度より公共下水道事業に着手した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
事業費(A)	千円	予算	495,734	729,812	—	8,400	69,000
		決算	441,775	712,935	—	7,090	—
人件費(B)	千円	決算	19,012	14,989	2,995	3,025	—
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	460,787	727,924	2,995	10,115	—
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	箇所			1	1	—	1
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円			442,045	397,235	247,011	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】 R4年度(2022)年実績	【目標①】 R6年度(2024)年実績	【目標②】 R8年度(2026)年実績
工事進捗率	%	22.6	28.5	38.0
(指標の設定根拠)				
長久手市公共下水道長寿命化計画(長久手浄化センター)				
(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典)				

事業開始からの経緯など	長久手市公共下水道長寿命化計画(長久手浄化センター)に位置付けた長寿命化工事を実施した。現在は長久手市下水道ストックマネジメント計画に基づき事業を実施している。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長久手市下水道事業ストックマネジメント計画に基づき実施設計業務を行った。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 引き続き、交付金も活用して事業を実施する。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 工事費を平準化し、計画的に行う。 ストックマネジメント計画(第1期:令和4年度から令和8年度)に基づき汚泥脱水設備の改築、機械棟の耐震化等を行う予定
--------	---

事務事業①	下水道施設長寿命化事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	【アクションプラン】 工事進捗率(累計)	%	見込	27.0	28.5	28.5	31.2	38.0
			実績	22.6				
(2)			見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	拡充
長久手市下水道事業ストックマネジメント計画に基づき実施設計業務を行った。							コスト投入	現状維持

事務事業②	下水道施設長寿命化事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事務事業③	下水道施設長寿命化事業							
活動指標		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	